

- 問1 栃木県の北西部に広がる、日本百名山にも数えられる山地を何という？
- 問2 千葉県が太平洋側に突き出す形で持ち、東京湾と接している半島を何という？
- 問3 都市部で猛暑対策として行われる、ビルの屋上に植物を植える取り組みを何という？
- 問4 大都市の都心部の人口が減り、その周辺の郊外で人口が増える現象を何という？
- 問5 茨城県の太平洋沿岸に位置し、鉄鋼業や石油化学工業が盛んな工業地域を何という？
- 問6 日本の政治・経済の中心地であり、関東地方にある世界有数の巨大都市圏の中心都市を何という？
- 問7 明治時代に建てられた近代的な機械製糸工場で、世界遺産に登録されている群馬県の施設を何という？
- 問8 茨城県つくば市に整備され、最先端の科学技術の研究が行われている拠点を何という？
- 問9 栃木県にあり、徳川家康をまつる豪華な建造物群として世界遺産に登録されている場所を何という？
- 問10 関東平野を流れ、日本で最も広い面積にわたって水を集めている河川のその特徴を何という？
- 問11 都市部でエアコンや自動車などから排出される熱のことを何という？
- 問12 東京湾の沿岸に広がり、日本を代表する化学工業や鉄鋼業が集中している工業地域を何という？
- 問13 河川の上流などに建設され、洪水調節や生活用水の確保など複数の目的を持つ施設を何という？
- 問14 群馬県や埼玉県が位置する、日本で最も広い平野を何という？
- 問15 都市部で道路や建物の地面を覆う、太陽の熱を蓄積しやすく気温を上昇させる原因となる材料を何という？
- 問16 大都市の周辺で、消費地である都市に向けて野菜などを栽培する農業を何という？
- 問17 関東平野に広く見られる、富士山などの火山灰が降り積もってできた赤土の台地を何という？
- 問18 神奈川県東部に位置し、明治時代から国際貿易港として大きく発展した港を何という？
- 問19 東京から横浜にかけての沿岸部に広がり、機械工業や化学工業が集まる工業地帯を何という？

答え合わせ・解説

問1	答え 日光連山	男体山、女峰山、太郎山などを中心とする山々の総称です。豊かな自然環境と美しい景観を持ち、標高が高いため夏でも比較的涼しく、観光地としても知られています。
問2	答え 房走半島	房総半島は、西側で東京湾に、東側から南側で太平洋に面しています。温暖な気候を活かした農業が盛んであり、海に囲まれているため漁業も古くから発展してきました。
問3	答え 屋上緑化	屋上緑化は、建物の屋上に植物を植えることで、直射日光による建物の温度上昇を抑える取り組みです。植物の蒸散作用によって周囲の気温の上昇を和らげる効果があります。関東地方の都市部など、多くのビルが建ち並ぶ地域で積極的に推進されています。
問4	答え ドーナツ化現象	中心部は仕事場として機能するものの、居住者は郊外に広がり、地図上で見ると中心部が空洞のように見えることから「ドーナツ化現象」と呼ばれます。
問5	答え 鹿島臨海工業地域	茨城県の鹿島灘沿岸に建設され、大型船が接岸できる広大な港湾設備を持つことが特徴です。鉄鋼、石油化学、電力といった重化学工業を中心とした工場が集積しています。
問6	答え 東京	東京は、国会議事堂や主要官庁、多くの大企業の本社が集まる日本の心臓部です。周辺の神奈川・千葉・埼玉などと一体となって世界最大級の都市圏を形成し、交通網や情報通信が極めて発達しています。
問7	答え 富岡製糸場	1872年に群馬県富岡市に設立されました。フランスの技術を取り入れ、最新の機械を使って大量生産を可能にしました。日本の産業近代化を先導する役割を果たしました。
問8	答え 筑波研究学園都市	1960年代から開発が始まり、現在では多くの国立研究機関や民間企業の研究施設、筑波大学が集まっています。世界最先端の研究が行われる、日本を代表する科学技術の拠点です。
問9	答え 日光の社寺	日光東照宮、日光山輪王寺、日光二荒山神社から構成されています。江戸初期の芸術の粋を集めた豪華絢爛な彫刻や装飾が特徴であり、歴史的・文化的な価値から世界遺産に登録されました。
問10	答え 流域面積	「流域面積」とは、河川に降った雨が流れ込む範囲のことで、利根川はこの面積が日本最大です。広範囲から水が集まるため、水量も非常に豊富で関東地方の生活を支えています。
問11	答え 人工排熱	エアコンの室外機や自動車のエンジンなど、人間が活動するために使う機器から出る熱を「人工排熱」と呼びます。この熱が外気に放出されることで、特に建物が密集する都市部では周辺の郊外よりも気温が高くなりやすくなります。
問12	答え 京葉工業地域	京葉工業地域は、千葉県浦安市から富津市にかけての沿岸部に広がっています。石油化学、鉄鋼、機械などの重化学工業を中心に発展し、広大な土地を活用した臨海型の工業地域として日本の経済を支えてきました。
問13	答え 多目的ダム	多目的ダムは、大雨の時に水を貯めて下流への洪水を防ぐ役割と、逆に雨が少ない時期には蓄えた水を放流して水道水や農業用水を確保する役割を兼ね備えています。
問14	答え 関東平野	北は山地に囲まれ、南は海に面しています。平らで広大な土地が広がっており、農業や工業が非常に発達しています。また、日本の人口の大きな割合が集中する地域でもあります。
問15	答え アスファルト	アスファルトは太陽の熱を吸収して蓄え、夜になっても冷めにくい性質を持っています。これが周囲の気温を上昇させ、ヒートアイランド現象を助長する大きな原因となります。多くの人口や車が集まる都市部では、特に大きな影響があります。
問16	答え 近郊農業	消費地のすぐ近くで野菜や果物、花などを栽培し、素早く市場へ届ける農業を「近郊農業」といいます。輸送コストや時間を短縮できるため、傷みやすい野菜の供給に適しています。
問17	答え 関東ローム	この火山灰が堆積してできた厚い層を「関東ローム」と呼びます。赤茶色をした土壌が特徴で、水はけがよいという性質を持っています。
問18	答え 横浜港	1859年に開港した横浜港は、生糸などの輸出拠点として急速に発展しました。現在では京浜工業地帯の一部として、日本屈指の取り扱い貨物量を誇る重要港湾となっています。
問19	答え 京浜工業地帯	京浜工業地帯は、東京都大田区から神奈川県横浜市、川崎市にかけての臨海部に位置します。機械工業や化学工業などの製造業が非常に盛んであり、古くから日本の重化学工業の中心地としての役割を果たしてきました。